

市立ひらかた病院経営強化プラン（第3次中期経営計画）に係るご質問・ご意見についての当院の考え方

◆経営強化プランに対するご意見

	ご質問・ご意見の要旨	件数	当院の考え方
1	これからの高齢化社会への対策・対応などを充実させることも大切では。	2件	本院が位置する北河内二次医療圏では、令和2年度時点で65歳以上の人口割合が全国平均よりも高くなっており、今後も高齢者人口が維持されると見込まれています。これを踏まえ、本プランでは第3章『4. 当院の役割・機能の最適化（2）当院の医療機能の最適化と連携強化に向けた具体的方策 ② 地域の高齢者の増加に対する対応力強化』として、大阪府がん拠点病院の取り組み等について記載しています。【P24】
2	個々の患者の細かい状態や不安の相談口になる、総合的な医師や窓口を作ってほしい。	1件	本院では、医療相談・連携室に窓口を設置し、医療ソーシャルワーカーが、患者の皆様やご家族の皆様の医療に関する不安や、福祉サービスなど様々なご相談に対応しています。本プランでは、今後について第3章『4. 当院の役割・機能の最適化（2）当院の医療機能の最適化と連携強化に向けた具体的方策 ② 地域の高齢者の増加に対する対応力強化』の中で、複数疾患等の初診を行う総合診療科設置の検討について記載しています。【P24】
3	急病時に休日・夜間でも対応してもらえるなど、地域の安心を最大限確保してもらいたい。	1件	本院では、地域からのニーズ等も踏まえ、今後においても政策医療を提供する急性期病院としての機能を維持していくこととしています。本プランでは、そのための具体的な方策として、第3章『4. 当院の役割・機能の最適化（2）当院の医療機能の最適化と連携強化に向けた具体的方策 ① 政策医療の提供』等で地域の安心を最大限確保していくための取り組みを記載しています。【P23】
4	救急医療、小児医療に力を入れてほしい。	1件	当院は大阪府から救急告示医療機関として指定されており、365日24時間体制で入院や手術、緊急処置などが必要な中等症以上の方を主な対象とする二次救急診療を行っています。また、小児医療についても、365日24時間体制で救急搬送の受入れをしています。今後も二次救急医療機関として、中等症以上の状態にある患者の診療を行うとともに、他の医療機関とも連携を図り、患者の皆様にとって必要な医療が迅速に受けられるよう努めてまいります。
5	医療機能の役割分担を行うにあたって、各医療機関の連携や、地域全体の医療について誰が中心になって進めていくのか。	1件	地域医療の役割については、現在、大阪府を中心に地域医療構想の議論が進められており、本院はこの議論の内容も踏まえ、今後においても急性期病院としての機能を維持していくこととしたものです。【P22】 また、近隣の医療機関との連携については、地域医療支援病院である本院が中心的役割を担っていく必要があると考えています。【P26 他】
6	子どもの医療やコロナ等の感染症のとりでになってほしい。	1件	本院では、小児医療については、小児救急医療と入院機能を有する「大阪府小児地域医療センター」として、感染症医療については、新型コロナウイルス感染症の「重点医療機関」及び北河内医療圏唯一の「感染症指定医療機関」として、必要な医療を迅速かつ適切に提供できるよう努めてきました。本プランでは、今後においても、これらの役割を担っていくことについて、第3章『4. 当院の役割・機能の最適化（2）当院の医療機能の最適化と連携強化に向けた具体的方策 ① 政策医療の提供』に記載しているほか、感染症については、個別に『第6章 新興感染症への取り組みについて』を設け、更なる充実を図っていくこととしています。【P23】【P32】
7	PET検査装置など最先端機器の導入を検討してほしい。	2件	当院は、急性期病院として、地域では受けにくい高度・専門的な医療を支える柱としての役割を担っていると自負しています。そのため、これまで「消化器センター」や「下肢機能再建センター」を開設し、さらに本年1月には「音声外科センター」を加えて、ニーズに応じた医療の提供に取り組んでいるところです。また、昨年7月には、「内視鏡手術支援ロボット【ダヴィンチ】」を導入し、安全で質の高い手術療法を提供しています。今後も患者サービスやニーズに合わせながら、検討していきます。
8	患者のメンタルケアや家族の不安に寄り添うようなシステム（カウンセリングなど）を充実してほしい。	2件	当院では、医療ソーシャルワーカーが、医療に関する様々なご相談に対応し、患者の皆様やご家族の皆様の不安の解消に努めています。必要に応じて院内の公認心理士と連携し、がん患者のこころのケアや周産期メンタルヘルスなどにも対応しており、患者の皆様やご家族の皆様が寄り添えるよう、今後一層メンタルケアの充実を図ってまいります。
9	民間病院に比べマンパワーが不足しているように思う。病院の基本的な機能を上げるため、人員増などに取り組んでほしい。	1件	急性期病院としての役割を果たすため、継続して提携先医局との連携を密にした医師の確保や診療体制の充実のための看護師・医療技術員等の確保を行います。
10	救急外来を外部からの応援医師で診療を行っている状況を改善してほしい。	1件	北河内二次医療圏唯一の公立病院として、24時間365日の救急医療を行うため、提携先医局からの協力を得て実施しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
11	スピード感のある判断による安定経営が質の高い医療サービスの提供につながる。	1件	本プランについては、持続可能な地域医療提供体制の確保の観点から、公立病院の経営を強化していくことを目的としており、当院を取り巻く環境やニーズの変化に的確に対応していくこととしています。そのため、本プランに掲げる目標の達成に向けて、「経営戦略タスクフォース」など実行体制の整備を行います。さらに、本プラン策定後に策定される「大阪府地域医療構想」の考え方など、プランの内容との整合を図る必要が生じた場合には、適宜見直しを図ってまいります。

◆その他に対するご意見

	ご質問・ご意見の要旨		当院の考え方
1	貴院に「強化プラン」があることを初めて知り、病院の取組に関して何も知らないことに気づいた。病院に関心を持つきっかけ作りは大切だと思う。	1件	当院では、これまでも「ホームページ」や「院内アンケートの設置」をはじめ「市民公開講座」など、医療に関する取組の周知や市民・患者サービスの向上に努めてきたところであります。 本プランでは、改めて当院の役割や機能をはじめ、医療情報の提供を「ホームページ」や「情報誌かわせみ」のほか、様々な媒体を活用し、「健康」「医療」に関する情報提供に努めていきます。
2	アンケートでは、受け入れると記載されているが夜間緊急時の高齢者診療を断られた。	1件	現在、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、特に発熱者の救急患者が増加したことで、救急外来が逼迫し、救急患者の受入れが困難となる状況が発生するなど、患者様にご迷惑をお掛けすることとなり、申し訳なく思っております。 しかしながら、当院は「断らない医療」を標榜し、救急車からの応需率の目標を掲げるとともに、スムーズな受入れを行えるよう、最大限努めてまいります。
3	整形外科の待合場所が狭い。受診番号表示板もその狭い場所に行かなければ番号の確認ができないため不便である。	1件	待合場所につきましては、現状の診療室等の確保及び位置関係から拡張については難しいものと考えております。 これを踏まえ、診察室の呼出モニターにつきましては、当該診察室での状況を表示するため診察室ごとに設置しているほか、各フロアの診察状況を、1階受付前ロビーや2階レストランなどのモニターにて表示しております。 また、スマートフォン等から診察状況が確認できるサービスも運用していますので、必要に応じてご利用ください。 (※一部の診療科を除きます)
4	駅からアクセスが悪い。15分間隔でよいので誰もがわかる病院への移動手段を明確にしてほしい。	1件	最寄りのバス停に、1日で300本を超える停車があることから、市内の他の病院と比較しても、交通の利便性はかなり高いものと考えております。 ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。
5	敷地内でもそれ以外でもよいので喫煙所を設置してほしい。	1件	病院機能評価の評価項目や算定している診療報酬の基準に基づき、本院は敷地内禁煙とさせていただきますようお願いいたします。 ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。
6	受付の対応が悪い。	1件	接遇などについては、これまでも、委託業者に対して接遇研修をはじめ、社員教育の徹底などを促してきたところです。 今回のご意見を踏まえて、認識を共有し、さらなる接遇改善に取り組んでまいります。
7	言葉遣いがきつい先生や看護師がいて、怒られているような気持ちになる。	1件	患者サービスの向上は、患者・職員が話しやすい雰囲気になり、「安全な医療の提供」にもつながることから、さらなる職員の接遇向上に努めてまいります。 なお、今回のご意見を踏まえて、院内共有を図り、さらなるサービス改善につなげてまいります。